

自衛隊協力会総会開く

八月十五日終戦記念の日で、兵器の展示が行なわれ機銃、ロケット発射筒、小銃、その他近代兵器が展示され、見物者の目まぐるしく、見物と興をそまじし、総会が盛大に開かれました。

八月十五日終戦記念の日で、兵器の展示が行なわれ機銃、ロケット発射筒、小銃、その他近代兵器が展示され、見物者の目まぐるしく、見物と興をそまじし、総会が盛大に開かれました。

十時過ぎ、会場をうづめる會員の前で協力量長の力強い挨拶、議事に入り四十二年度



写真(七) 総会風景 (下) 武器展示風景

普及所だより

八月中旬から九月上旬にかけて稲刈りが進められ九月中旬からは町内全域の水田に雑草の発生が見受けられます。幸い天候は恵まれ、病虫害の被害も少なく予想以上の収穫が期待出来ると思えますが、毎年このころが稲刈り跡地を来春までのまま放置しておきますと来年度の稲作には支障をきたす程の雑草と考りますので、このことを考え、出来るだけ早く耕起をしたり、薬剤散布による雑草の防除を実施したいのです。

稲刈り後の雑草の防ぎ方

葉葉から吸収され、葉や素の体内に移行し、葉緑素の形成を阻害して、植物を枯死させたり、地上部に吸収された薬剤が地下部で根を殺すものです。稲の殺すほど効果が高い。

稲刈り後の雑草の防ぎ方

一、早期耕起防除(九月中旬〜十月上旬)
二、薬剤防除
三、刈り取りが終了したら早目に耕起してしまふと腐敗したりして、来年度の雑草の発生が極めて少なくなります。稲の殺すほど効果が高い。



犬の放し飼いはやめましょう

と畜場の現況

新と畜場の操業については、前号でもお知らせいたしました。六月一日に現在のと畜場に移動し、概ね順調な業務を遂行して居ります。特に町民の皆さんに色々と御心配になった公舎の問題、中でも浄化槽(汚水処理)については、去る六月中旬、七月下旬、県立衛生研究所に依頼した結果、極めて良好な成績が発表になりました。完燃焼焼却炉についても、完燃焼

ぜび実現したい 農業者年金

「農業者にも年金を」と言う動きは日と共に高まってきました。この年金制度はさきの総選挙の際に藤澤理が公約した「農民にも恩給を」と云うキャッチフレーズが直接のきっかけではありますが、しかしその底には汗と土にまみれて黙々と働き続けた農民が老後に安らぎを、保障制度の確立を望む強い欲求から来たものとも云えます。

それは現在農林省で検討中の農業者年金の仕組みはどの様なものかと申しますと大別して「農業者老令年金」(一般移譲年金)「転職離農年金」の二つに分けられます。

①農業者老令年金とは農業者の老後の生活を保障するための年金で農業者が六十才になったら毎月二万円の年金が受取られるようにする(拠出制)掛金はこの年金の特殊性にかんがみ現在の国民年金の掛金より引下げるようになっています。

②転職離農年金とは離農して他に転職するが引退して農業を全くやめてしまふ人達に対する援護のための年金です。但しこの年金は離農する人が従来耕作していた農地の全部を自己経営農家やその志向却又は賃貸いづれでもよい。



消防団ポンプ操法大会(東陽小学校にて)

消防団

「そなえは万全」

炎天下の七月三十一日、第七回消防団ポンプ操法大会が東陽小学校々庭において開催され、参加チーム九分団が日頃の訓練の成果を充分発揮しその技を披露しました。

ポンプ操法の訓練はいくまでもなく、火災現場において消火にあたる場合の基礎をなすものでこの基礎訓練なくして火災の鎮圧はできません。ポンプ操法大会もこのような意義のもとに毎年実施されているのです。今年度参加したポンプは、自動車ポンプ五台、手引動力ポンプ七台、可搬動力ポンプ十六台、計二十八台を以て結果次の分団がそれぞれ晴れの入賞を得ました。

◎総合優勝 第七分団
◎可搬動力ポンプの部
一位 第七分団第一部 長原
二位 第七分団第四部 白磯
三位 第八分団第三部 五ノ神
四位 第三分団第二部 小田部
五位 第六分団第三部 原方
◎手引動力ポンプの部
一位 第一分団第三部 三区



新と畜場室内作業風景

豚の病気の見分け方

豚の病気の見分け方

① 呼吸困難を示す。
② 眼は温潤でいきいきとして、めやにがたり、充血がある。これは単独または複合的に現れ、ときには強く、ときには弱く、ときには手遅れにならないように気をつけよう。

③ 体温、脈数、呼吸数や呼吸の仕方に異常が現れる。
④ 便や尿に異常が現れる。
⑤ 毛につやがなく、皮膚の色つや、弾力性に異常を示す。
⑥ せきを出したり、鼻汁や鼻血が出る。鼻端が乾く。
⑦ 栄養が悪くなり、めやにが出たり、眼が充血し、歩き方がよくなる。

⑧ 神経症を示す。
⑨ 以上が病豚にあらわれる症状ですが、これが単独または複合的に現れ、ときには強く、ときには弱く、ときには手遅れにならないように気をつけよう。

横芝郵便局より

明治以来、町の発展と共に電話も増加の一途をたどり、今般自動式を迎える事となりました。おもうに無から出た、電柱もない、話すにも加入相手のない時代から今日のこの電話加入の隆盛を見るに至る長年の間、誠に皆様には、お世話になりました。今般の合理化により退職他局配電転換等、交換機の大部分は当局を去ります。此処に電話と電報配達の仕事は九月十七日午後三時をもって終止符をうち、新設の横芝報話局に引継ぐ事となります。恐らく三十名以上が当日より皆様とお別れする事となりますが、長い間の御協力に感謝申しあげますと共に切換への御挨拶を申しあげます。長い間お世話になりました。尚今後一層の御支援の程お願いいたします。

横芝郵便局長
電話交換機一同